

学校給食事業の トップ企業を牽引する 次代の経営者

株式会社東洋食品 専務取締役

おぎくぼ

みずほ

荻久保 瑞穂さん

東京工業大学大学院経営工学専攻博士課程修了後、2008年から金融情報メディアであるブルームバーグ・エル・ピーで勤務。2011年に世界大手投資運用会社ウエリントン・マネージメント・ジャパン・ビーティーイー・リミテッドに転職し、債券運用に5年間携わる。35歳で株式会社東洋食品に常務として入社。働き方改革や女性活躍を推進し、2019年に専務に就任。3児の母でもある。

HARA'S BEFORE

学校給食事業で目覚ましく成長している会社が、東洋食品である。1966年に祖父が創業し、その後、父が発展させた同社に、荻久保さんは外資系金融関連企業での勤務を経て入社し、後に事業承継する予定である。これまでのキャリアを生かした組織マネジメントなどを聞いてみたい。

【取材・文】原 正紀

株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役、特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会常務理事・事務局長、一般社団法人留学生支援ネットワーク理事、一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム理事・事務局長、高知大学経営評議会委員・客員教授、中小企業診断士、早稲田大学法学部卒業後、株式会社リクルートを経て起業し、人材事業を産学官において展開。公的委員多数歴任。「インタビューの教科書」(同友館)をはじめ、著書多数。

【写真】藤巻祐介